

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	49	大学等名	神戸大学
テーマ	テーマⅣ 長期学外学修プログラム (ギャップイヤー)		

【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・本テーマの取組「神戸グローバルチャレンジプログラム」は、神戸大学の学生の海外経験の主要な部分を担っており、全学的拡がりが見込めるプログラムである。本プログラムにおいては、「神戸スタンダード」の枠組みの中で「学びの動機付け」と成長が図られており、学生が提出する「チャレンジシート」と「リフレクションシート」をセットにして学生の成長を跡付けている。また、海外同窓会ネットワークによって本プログラムが支援されていることは評価できる。
- ・活動資金のサポートとして神戸大学基金から費用の一部支援を受けるなど、全学的支援体制の確立がうかがえることは評価できる。
- ・学生の海外派遣プログラムに精通した他大学教員を外部評価委員として任命し、また、本プログラムに参加した学生も加えた外部評価委員会を実施して、その意見に基づきより客観的なルーブリック指標の検討等の改善に努めたことは評価できる。
- ・事業成果の広報・普及については、全体報告会、パネル展示、ホームページによる発信、AP事業テーマⅣシンポジウムでの紹介など積極的に行っていることは評価できる。

<改善を要する点>

- ・学生を海外派遣する場合の安全性の確保については十分留意し、「海外同窓会ネットワーク」等への協力を要請する必要がある。
- ・ルーブリックを利用して、より客観的な評価ができるように期待したい。また、評価結果の経年変化の分析が必要である。